

書類提出用 端末要件

平成 29 年4月

金融庁 総務企画局 企業開示課

- ◆Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ◆Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。
- ◆Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標又は登録商標である場合があります。
- ◆Adobe® product screen shots reprinted with permission from Adobe Systems Incorporated.
- ◆Adobe、Adobe Photoshop、Adobe Illustrator は、Adobe Systems Incorporated の登録商標又は商標です。
- ◆その他、記載されている会社名及び製品名は、各社の登録商標又は商標です。
- ◆本文中では、TM、®、©は省略しています。
- ◆本文及び添付のデータファイルで題材として使用している個人名、団体名、商品名、ロゴ、連絡先、メールアドレス、場所、出来事等は、全て架空のもので、実在するものとは一切関係ありません。
- ◆本書に掲載されている内容は、平成 29 年4月現在のもので、予告なく変更される可能性があります。
- ◆本書で公開している情報の利用については、利用規約(<https://submit.edinet-fsa.go.jp/EKW00Z0030.html>)を遵守してください。
- ◆本書に記載の会社名及び製品名について、金融庁はそれらの会社、製品等を推奨するものではありません。

1 操作環境について	4
2 事前準備	5
2-1 EDINET 利用時の操作環境	5
2-2 信託済みサイトへの登録	6
2-3 証明書の設定	9
2-3-1 証明書設定の必要性確認	9
2-3-2 証明書の設定	11
2-4 JRE の設定	12
2-5 電子メールの設定	13
2-6 フィルタリングソフトを導入している場合	13
3 電子署名	14
3-1 電子証明書について	14

本書について

本書は、「開示書類等提出者のサイト」を利用するためのコンピュータの事前準備及び必要な設定変更について説明しています。

EDINET を御利用いただくために






EDINET に開示書類を提出するための前提知識として、一般的な Web ブラウザを使用し、インターネットが御利用いただける方を対象としています。

本書の表記について

本書は次の環境で作成しています。

OS	Microsoft Windows 7 SP1
ソフトウェア	Microsoft Internet Explorer 11 JRE Version8 Update101 Adobe Acrobat Reader DC

本書内に記載している記号は、次のような意味があります。

表示	意味	表示	意味
POINT 	操作に関連するポイントについて説明しています。		画面の入力又は選択する項目等を指します。
MEMO 	知っておいていただきたいことについて説明しています。		画面で表示された項目を指します。
 重要	重要事項について説明しています。必ずお読みください。	《 》	画面の項目名を指します。 例：《EDINET コード》をクリックします。
[]	画面名を指します。 例：[提出者検索画面]が表示されます。	【 】	キーを押す操作を指します。 例：【F5】キーを押します。

製品名の記載について

本書では、次の略称を使用しています。

名称	略称
Windows 10	Windows 10 又は Windows
Windows 8.1	Windows 8.1 又は Windows
Windows 7	Windows 7 又は Windows
Windows Internet Explorer 11	Internet Explorer 11 又は Internet Explorer
Windows Internet Explorer 9	Internet Explorer 9 又は Internet Explorer
Adobe Acrobat Reader DC	Acrobat Reader DC 又は Acrobat Reader

<<EDINET の利用に当たって>>

EDINET を装い、ユーザ ID、パスワード等の個人情報を盗もうとする偽の Web サイトに注意してください。

このような Web サイトに誘導するメールが届いても、リンク先にアクセスしたり、添付ファイルを開いたりしないように注意してください。

EDINET からメールで個人情報を照会することは一切ありません。

なお、ウイルス対策ソフトを最新の状態にするなど、御利用環境のセキュリティ対策をおすすめします。

1 操作環境について

「開示書類等提出者のサイト」を利用する場合の、コンピュータ環境について説明します。

EDINET は、下表に記載のオペレーティングシステム、Web ブラウザ及び「JRE (Java Runtime Environment)」の組合せで動作を確認しています。なお、JRE については JRE8 の最新バージョンを設定することを推奨しています。

JRE の設定手順については、「2-4 JRE の設定」を参照してください。

<ハードウェア>

ディスプレイ解像度： 1024 × 768 以上

<ソフトウェア>

オペレーティングシステム	Web ブラウザ
Windows10	Internet Explorer 11 ※1
Windows8.1	Internet Explorer 11 ※1
Windows7 SP1	Internet Explorer 11 ※1
JRE (Java Runtime Environment)	8 の最新バージョン (32bit)

※1 拡張保護モードを無効に設定し、御使用ください。

また、EDINET では、サーバ側で「Internet Explorer9」として互換表示するように設定しています。

ブラウザの互換表示設定をする場合は、「Internet Explorer10」以降のモードを指定しないでください。

※上の表の組合せ以外で EDINET を利用する場合、画面の表示が操作ガイドと一部異なる場合があります。

※EDINET を利用するためには、事前に政府認証基盤 (GPKI) のホームページから「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」を入手する必要があります。手順は「2-3-2 証明書の設定」(p.10)を確認してください。

※PDF の書類を閲覧するためのソフトウェア (例: Acrobat Reader) が必要です。

2 事前準備

EDINET を利用する前に、御利用いただくコンピュータに事前準備が必要です。事前準備の手順について説明します。

2-1 EDINET 利用時の操作環境

EDINET に接続する際に、御利用いただいているコンピュータで、初期設定から変更する箇所について説明します。

1 信頼済みサイトへの登録



2 証明書の設定



3 JRE の設定

2-2 信頼済みサイトへの登録

Internet Explorer を起動し、[開示書類等提出者のサイト] を「信頼済みサイト」に登録します。「信頼済みサイト」には安全であることがわかっている Web サイトの URL を登録しておくことで、登録した Web サイトからのダウンロード及び実行時の警告が表示されず、また、実行時の制限を受けないようにできます。EDINET の [開示書類等提出者のサイト] を正しく動作するように利用していただくために、信頼済みサイトへ登録します。

1

Internet Explorer を起動します。

2

メニューバーの《ツール》から《インターネット オプション》をクリックします。




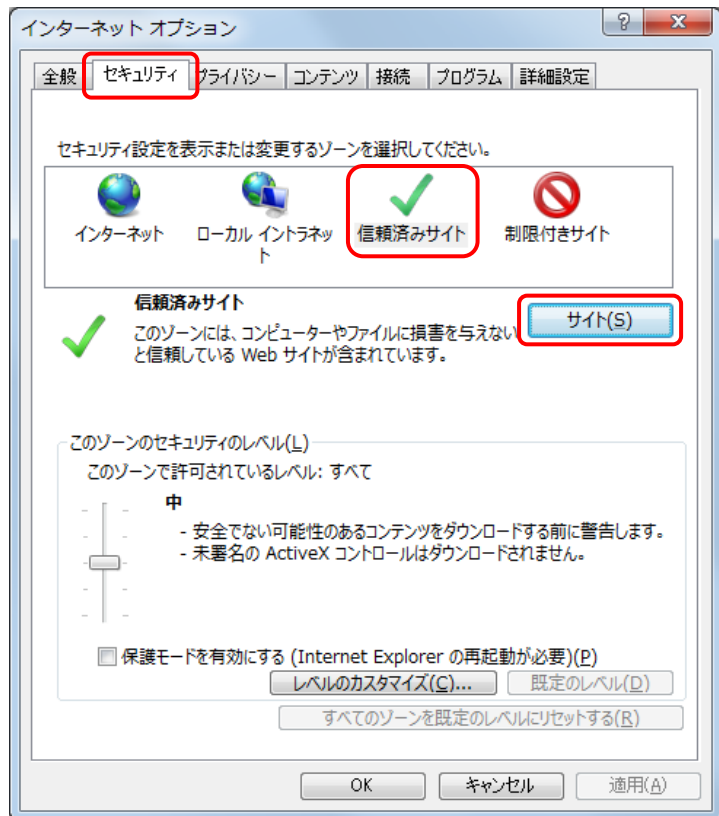
[インターネット オプション]が表示されます。セキュリティの設定をします。

3

《セキュリティ》タブをクリックします。

4

 (信頼済みサイト)を選択し、信頼済みサイト (サイト)をクリックします。



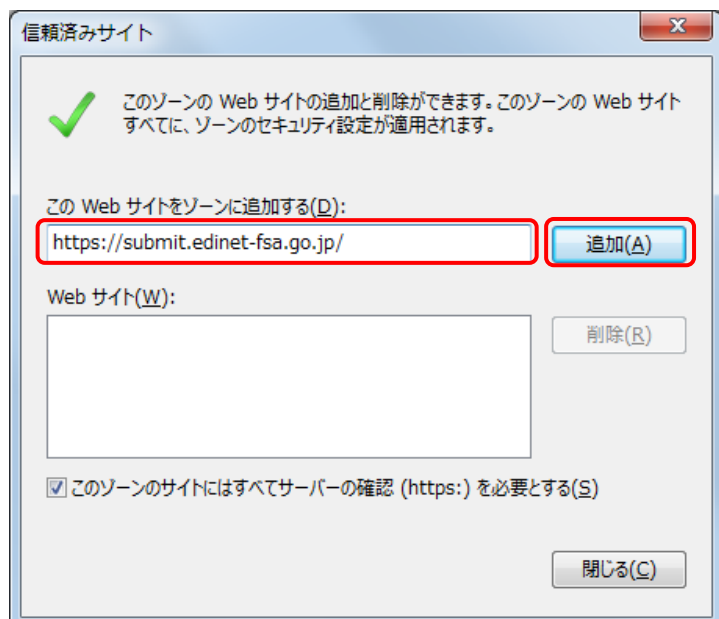
[信頼済みサイト]が表示されます。

5

《次の Web サイトをゾーンに追加する》に「https://submit.edinet-fsa.go.jp/」と入力します。

6

(追加)をクリックします。

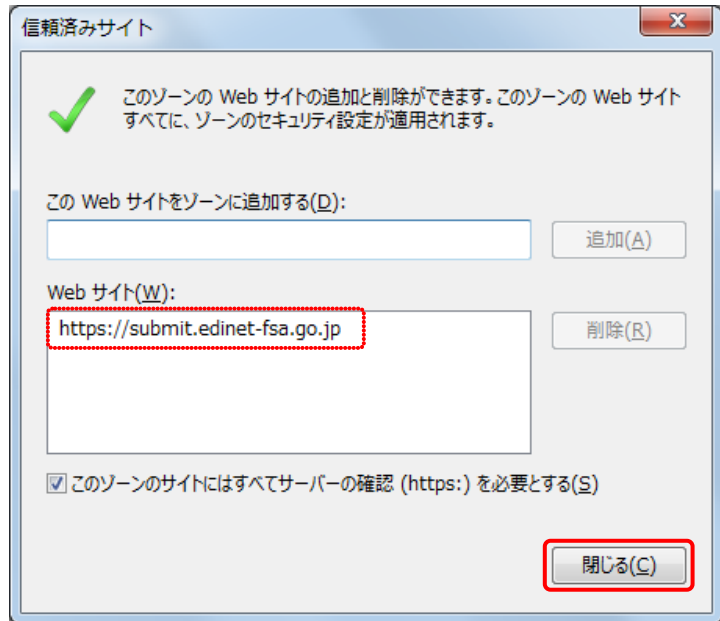


7

《Web サイト》に操作 5 で入力した URL が追加されたことを確認します。

8

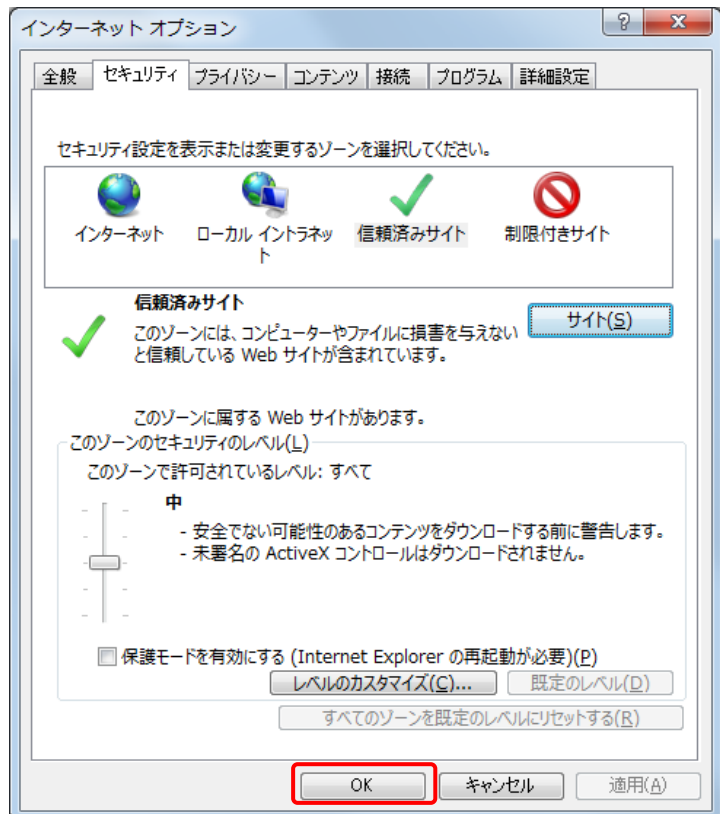
閉じる(C) (閉じる)をクリックします。



[インターネット オプション]に戻ります。

9

OK (OK)をクリックします。



2-3 証明書の設定

EDINET を利用するには、「ルート証明書の更新」プログラムが有効である必要があります。「ルート証明書の更新」プログラムが有効でない方は、政府認証基盤（GPKI）のホームページから「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」をダウンロードし、御利用いただくコンピュータに設定してください。

設定の可否については、「2-3-1 証明書設定の必要性確認」の操作をし確認します。確認した結果、設定が必要である場合は、「2-3-2 証明書の設定」の操作をします。

2-3-1 証明書設定の必要性確認

EDINET の「開示書類等提出者のサイト」に接続し、「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」を手動で設定する必要があるかを確認します。

1

Web ブラウザを起動し、「開示書類等提出者のサイト」を表示します。

URL

<http://submit.edinet-fsa.go.jp/> に接続してください。



2

提出者情報管理・書類提出 (ログイン) (提出者情報管理・書類提出 (ログイン)) をクリックします。



3

[セキュリティの警告]が表示される場合は、「2-3-2 証明書の設定」の操作が必要です。

《ここをクリックしてこの Web ページを閉じる》をクリックして Web ブラウザを終了します。

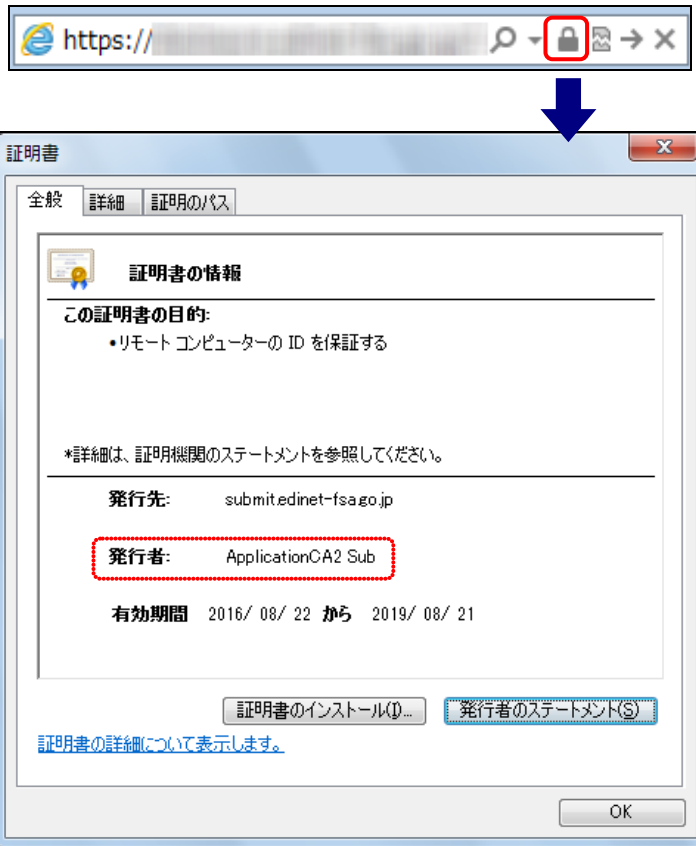


[セキュリティの警告]が
表示されない場合



[セキュリティの警告]が表示されない場合は、「2-3-2 証明書の設定」は不要です。Web ブラウザの鍵マークをクリックし、[証明書]を表示します。

《発行者》が「ApplicationCA2 Sub」と表示されることを確認します。



2-3-2 証明書の設定

政府認証基盤（GPKI）のホームページから、「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」をダウンロードし、御利用いただくコンピュータに設定します。

1

Web ブラウザを起動します。

2

政府認証基盤（GPKI）のホームページに接続し、「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」をダウンロードし、設定します。

《アプリケーション認証局2》をクリックし、以降の操作は、画面の指示に従ってください。

政府認証基盤（GPKI）の

ホームページ



政府認証基盤（GPKI）のホームページの

URL は、<http://www.gpki.go.jp/> です。

政府認証基盤（GPKI）のホームページ及び「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」の設定に関する質問は、政府認証基盤（GPKI）のホームページに記載されている、「お問い合わせ」より確認してください。



※本画面は 2016 年 9 月現在のものであります。

2-4 JRE の設定

EDINET に書類提出する場合は、事前に Oracle Corporation の「JRE (Java Runtime Environment)」のインストールが必要です。



JRE (Java Runtime Environment) のダウンロードサイト

JRE (Java Runtime Environment) は、次のホームページからダウンロードできます。

※次のホームページは Oracle Corporation で運営されており、金融庁が運営しているものではありません。このアドレスは 2015 年 2 月時点のものです。

<http://www.java.com/ja/download/>

1

Internet Explorer を起動し、Java のダウンロードサイトを表示します。

2

画面中央にある「無料 Java のダウンロード」ボタンをクリックします。

3

以降の操作は、表示される画面の指示に従ってください。



インストールができない場合 **MEMO**

インストールができない場合は、自社のシステム管理者に御相談ください。

2-5 電子メールの設定

EDINET では、電子メールを利用して、開示書類等提出者に迅速情報を提供します。御利用のコンピュータから利用が可能な電子メールアドレスを開示書類等提出者ごとにご取得してください。電子メールアドレスは、EDINET 利用届出時に入力が必要になります。

2-6 フィルタリングソフトを導入している場合

フィルタリングソフトを導入している場合で、EDINET に書類を提出するときは、次の URL がアクセスできるように設定してください。

<EDINET>

<http://submit.edinet-fsa.go.jp/>

<https://submit.edinet-fsa.go.jp/>

<https://submit-sorry.edinet-fsa.go.jp/>

<政府認証基盤(GPKI)>

<https://www.gpki.go.jp/>

また、EDINET での書類提出にあたり、JRE (Java Runtime Environment) 及び Acrobat Reader が必要となります。御利用いただくコンピュータに事前にインストールしておくか、又はそれぞれのダウンロードサイトをアクセスできるように設定してください。

3 電子署名

EDINET に書類提出する際に、電子署名を付与して提出する場合の電子証明書、事前準備について説明します。
 ※なお、書類提出時の電子署名の付与は任意です。

3-1 電子証明書について

書類提出時に、電子署名を付けて提出する場合は、事前に電子証明書を入手しておく必要があります。

電子証明書は「政府認証基盤(GPKI: Government Public Key Infrastructure)」が相互認証した次の民間認証局から発行されている電子証明書を使用してください。電子証明書のセットアップについては、各サービスのサイトを参照してください。

民間認証局の一覧（2017年3月時点）

認証局(会社名)	サービス名	証明書タイプ	動作確認※
電子認証登記所	商業登記認証局 商業登記認証局 法人認証カード (NDN)	ファイル IC カード	○
地方公共団体システム機構(J-LIS)	公的個人認証サービス (JPKI)	国民番号カード 署名用証明書 住基カード (旧)	○
セコムトラストシステムズ	セコムパスポート for G-ID	ファイル	○
日本電子認証(NDN)	AOSign サービス AOSign サービス G2	IC カード	○
帝国データバンク	電子認証サービス TypeA	IC カード	○
NTT ネオメイト	e-Probatio PS2 サービス	IC カード	○
ジャパンネット	DIACERT-PLUS サービス DIACERT サービス	IC カード USB メモリ	○
東北インフォメーション・システムズ	電子入札対応認証サービス	IC カード	○

※EDINET にて、SHA-256 の電子証明書での動作確認をしている認証局。

■■■ 改版履歴 ■■■

No.	改版日	改版内容
1	2013.08	初版
2	2013.09	「2-3-1 証明書設定の必要性確認」の「MEMO[セキュリティの警告]が表示されない場合」について、「《発行者》が「ApplicationCA」と表示されることを確認します。」へ変更。
3	2013.12	「2-3-1 証明書設定の必要性確認」の「MEMO[セキュリティの警告]が表示されない場合」について、「《発行者》を「ApplicationCA2 Sub」へ変更。 「3-2-2 署名機能クライアントのセットアップ」の「7」について、「《証明のパス》の《GPKI ApplicationCA2 Root》を選択し」へ変更。 「3-2-2 署名機能クライアントのセットアップ」の「8」について、「《全般》タブの《発行先》が「ApplicationCA2 Root」となっていることを確認します。」へ変更。 「3-2-2 署名機能クライアントのセットアップ」の画像について、証明書変更のため、差し換え。 政府認証基盤(GPKI)の認証の更新のため、「アプリケーション認証局の自己署名証明書」を「アプリケーション認証局2(Root)の自己署名証明書」へ変更。あわせて、「2-3-2 証明書の設定」の画像を差し替え。 「2-3-2 証明書の設定」の「2」について、「《アプリケーション認証局2》をクリックし、」へ変更。
4	2014.04	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、オペレーティングシステム「WindowsXP」を削除し、「Windows8」及び「Windows8.1」を追加。Webブラウザに「Internet Explorer 10」及び「Internet Explorer 11」を追加。JREを「Version7 Update7」から「Version7 Update51」に変更。
5	2015.02	「1 操作環境について」に JRE8 を追加。 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、JRE を「Version7 Update51」から「Version7 Update75」に変更し、「Version8 Update31」を追加。
6	2015.03	「3-1 電子証明書について」の「民間認証局の一覧」を更新。
7	2015.04	「1 操作環境について」から JRE7 を削除。 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、JRE を「Version8 Update31」を「Version8 Update45」に変更し、「Version7 Update75」を削除。
8	2016.01	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを削除。 ・Windows8.0、Internet Explorer 10 ・Windows7 SP1、Internet Explorer 8～10 ・Windows Vista SP2、Internet Explorer 7～8 「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」の JRE に関する記載を修正。 「3-1 電子証明書について」の「民間認証局の一覧」を更新。

No.	改版日	改版内容
9	2016.03	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを追加。 ・Windows10、Internet Explorer 11
10	2016.09	サーバー証明書及びコード署名証明書の更新に伴い、「2-3 証明書の設定」及び「3-2-2 署名機能クライアントのセットアップ」の画像を差し替え。
11	2017.03	「3-1 電子証明書について」の民間認証局の一覧を、平成 29 年3月の情報で最新化。 「3-2 公的個人認証サービスのセットアップ」、「3-3 商業登記」について、署名方式の変更により削除。
12	2017.04	「1 操作環境について」の「<ソフトウェア>」について、次のオペレーティングシステム及び Web ブラウザの組合せを削除。 ・Windows Vista SP2、Internet Explorer 9(32bit)

